

維新・京都・国民 市会議員団ニュース

発行元 維新・京都・国民市会議員団 〒604-6571 京都市中京区寺町通御池上ル上本能寺前町488 TEL:075-222-4182 FAX:075-213-2227 令和7年11月23日発行

会派の政策

- 01 行財政改革**
～次の世代に負担と先送りしない京都をつくる～
財政再建と行財政改革の完遂を目指す
- 02 次世代への投資**
～子どもまんなか社会の京都をつくる～
子育て・教育にかかる家庭負担の大幅軽減を目指す
- 03 市民サービス改革**
～住みたいまち京都をつくる～
より安価と感に納得出来る市民サービスの再構築
- 04 文化首都京都の確立**
～文化で市民がうるおう京都をつくる～
文化と経済の融合で京都市の成長を目指す
- 05 京阪神連携の推進**
～輝ける京都をつくる～
経済・文化・行政・創首都圏を目指す
経済成長戦略で資金の上がる社会を目指す
- 06 議会改革**
～議会が将来ビジョンを先導する京都をつくる～
議員と議会のあり方の見直しを目指す

議員団視察と国への要望活動

維新・京都・国民市会議員団では、他の自治体の先進事例や成功事例などの知見や情報を得るために、8月に視察を行いました。また、11月には国への要望活動を行い、京都市にとって特に必要であると考えられる項目について、国への要望活動と聴き取り調査を行いました。各項目については以下の通りです。

当議員団として、より良い京都にするために活かして参ります。

議員団視察

北九州市

- ・人口増施策について
- ・小児救急医療体制について
- ・若者の挑戦を応援するZ世代課の取組について
- ・先進的介護に関する取組(北九州モデル)について



福岡県

- ・病児保育施策について
- ・中小企業の生産性向上について



国への要望活動

- ・自治体病院(京都市立病院)の経営改善に向けた財政支援の強化を求める要望
- ・簡易宿所の立地を制限することを目的とした旅館業法の改正についての要望



松井市長へ 令和8年度予算要望を提出

改革と創意で拓く次の京都へ

私たち維新・京都・国民市会議員団は、市民の皆さまから寄せられたご意見やご要望をもとに、令和8年度の予算編成に向けて、市政のさらなる充実と持続可能な発展を求める予算要望書を提出しました。

また、地域疲弊の声が高まる観光課題については、「市民生活と観光の調和」に向け、民泊問題や交通対策など実効ある措置を講じるよう強く要望。市民の暮らしがあってこそ観光であるとの立場から、局を横断した専門対策チームの設置を提言しています。

本市の財政は依然として厳しい状況にあります。私たちは行財政改革を「公共料金の値上げで市民に負担を求める」形で進めるのではなく、ITなど新たな技術を丁寧に活用した業務の省力化や、スマートフォンを通じて行政と気軽につながれる仕組みづくりを進め、市民サービスの向上と効率化を同時に実現すべきだと考えています。

さらに北陸新幹線については、地下水への影響や工事車両による渋滞、財政負担など市民の懸念を踏まえ、京都市が国との協議を透明性をもって進め、市民合意のもとで判断を行うよう求めました。

こうして生み出した財源は、保育料や給食費、子ども医療費、教育費など、子育て世代の負担軽減に充てるよう提言するとともに、要望書の重点項目として掲げました。

これからも、未来を担う子どもたちや若い世代が希望を待てる京都、そして誰もが誇りをもって暮らせる京都の実現に向け、行財政改革と次世代への投資の両立に全力で取り組んでまいります。

団長 江村 理紗

維新・京都・国民市会議員団のメンバー

～お困りごとやご相談はお住まいの地域の議員まで～

日本維新の会
地域政党京都党
国民民主党

 こうち 大輔 環境福祉 委員 ☎ 757-4775	 大津 ゆうた 総務消防 委員長 ☎ 323-7600	 おんつ か 功 産業交通水道 委員 ☎ 781-3700	 宇佐美 賢一 まちづくり 委員 ☎ 090-6322-3441	 森 かれん 文教はぐくみ 委員 ☎ 366-6341	 もりもと 英靖 文教はぐくみ 副委員長 ☎ 080-4011-0461
 神谷 修平 産業交通水道 委員 ☎ 406-0473	 北川 みき まちづくり 副委員長 ☎ 080-4499-1129	 中高 しゅうじ 環境福祉 委員 ☎ 080-7538-1649	 北尾 ゆか 総務消防 委員 ☎ 315-7000	 土方 莉紗 産業交通水道 委員 ☎ 661-0001	 河村 諒 環境福祉 委員 ☎ 070-8469-7728

要望の詳細はこちら



京都市監査委員に就任して おんづか 功

維新・京都・国民市会議員団から
監査委員が選出されました!!

京都市監査委員会は議選委員2名、識見委員2名の4名で構成されており、30名ほどの監査事務局職員が調査した内容を踏まえ、業務が事務規則等に基づいて正確に執行されているのか、住民監査請求に対して意見聴取をしたうえで請求内容が事実であるのか、などの判断をするような立場にあります。一方、私たち市会議員は議案審議などのチェック機能を果たすこと

が仕事で、これは予算配分を決めることであり、また、その使途が目的に沿っているかなどを審議することです。このように市政を鳥の目で見ると、虫の目で見ると、視点を変えるきっかけになる事からも、私に続く経験者がこの会派から選出されることを望んでいます。



9月市会代表質問

「市民生活第一の観光政策」の実現

中野 洋一



多くの方が京都を訪れ、賑わいが戻りまちに活気が溢れている。一方で暮らしている方には今まで以上のオーバーツーリズム状態に直面させてしまっている。住んでいるだけでなぜこれほど苦しみ辛抱しなければならないのか、これから住み慣れたこのまちに住んでいくべきか、生活する際の根本を不安にさせてしまっている。市民の生活における安心を確実に提供していくために今すぐ徹底した対策を行うべきである。

病児保育の取り組み支援

くぼた まさき



病児保育は安定した就労支援に加え、安心して子育てを継続する上で必要な施設であり、子育て世代の当事者として病児保育環境の改善を求めました。まずは使い勝手を良くする点の必要性、今後の地域別の需要を把握するデータの蓄積のための病児保育のネット予約の導入、及び利用するまでのハードルを下げるための「資料の簡素化・DX化」、新型コロナの陰性証明の有無も含めた検討を進めるべきと提言しました。

…日本維新の会

…地域政党京都党

…国民民主党

5月市会代表質問

新たな住民参加の担い手創出

大津 裕太



各施策に「ついやりたくなるゲームの要素」を取り入れることで、これまで行政に関心が薄かった層の住民参加を期待できる。例えば、スマホアプリを使いながらのフィールドゲームの形で、市民から老朽化したインフラの情報を集めるなどの施策だ。松井市長は新しい公共を掲げる中、町内会組織や各種団体は高齢化・縮小傾向。新たな住民参加の担い手創出の1つの手法として是非検討頂きたい。

市住の管理不全を是正すべし

河村 諒



市営住宅の廊下など共用部分に不要物の残置が目立つ。調査の結果73/75団地で違反があった。2月議会の市長総括質疑において、当方からの「市住はきちんと管理されているか」という質問に対し竹内副市長は「適切な管理をしている」と答弁したが、どういう認識か。付帯する駐車場の管理にも不明瞭な部分が多い。全ての市住に住まう市民のため、管理受託者である住宅供給公社に即刻是正を求める。

避難所運営の実効強化

江村 理紗



災害時に迅速な避難所開設を行うため、各避難所の災害リスクに応じた判断基準の整備と、一定程度で自動開錠する鍵ボックスの設置を提案しました。私の昨年度からの提言も踏まえ、受入可能人数の算定方法の見直し、令和8年度以降は地域ごとの実情に応じた避難所運営のひな形作成が展開される予定です。鍵ボックス設置についても検証がなされます。

子どもの予防接種費の補助

こうち 大輔



季節性インフルエンザ予防接種費用は、3,000円～5,000円程度が平均的で、現在、京都市では、補助制度により65歳以上74歳以下は1,500円で、75歳以上は1,000円で受けることができる。京都市は多額の財政負担を伴うことから現時点では困難と考えているが、経済的な負担の軽減や接種率の向上、健康格差の是正のために、補助制度を子どもたちにも拡大することを提案する。他都市で実施している例もある。

電柱も被害想定に勘案すべき

もりもと 英靖



京都市内にある電柱として京都市でも正確に本数を把握できていないのが現状。電柱に限らず、工作物や建築物の管理は当然所有者にあり、平時、有事ともに責任を持って管理することが原則だが、今一度、子供達が通る通学路を含めた道路の安全を守る観点からも、市として国や府と情報を共有し、しっかりと電柱の現状を把握すると共に、防災への意識や取組みのアップデートを図っていくべき。

着衣水泳授業の実施について

土方 莉紗



着衣水泳とは、衣服を付けたまま行う水泳で、水着での泳ぎとは異なり体が重くなり、思うように動けなくなることを身をもって体験し、水難事故への対応を学ぶことが目的です。川遊びなど身近な危険に備える為、京都市が試行的に実施しているスイミングスクール等民間事業者と連携した水泳授業の実施と合わせて、すべての小学生を対象とした着衣水泳授業を実施すべきと提言しました。

継続的な芸術家登用システム

中高 しゅうじ



本市においても授業の一環として芸術を学ぶ学生や高校生などが市のポスターや交通局の啓発ポスターなどを「無償で」制作しているが、本市も福岡市の様にさまざまな事業において市内で活動するアーティストにボランティアではなく仕事を依頼してしっかりと対価を支払うべきだ。プロのアーティストとして積極的に採用する仕組み作りこそが継続的にアーティストを支援し、育てていくことに繋がる。

決算特別委員会 市長総括質疑

総括質疑は、議員が市長・副市長等と一問一答方式で侃々諤々の議論を行います。総括質疑に登壇していない議員も専断の委員会では議論を戦わせています。

ホテル誘致方針の撤回へ

宇佐美 賢一



京都市は宿泊施設の誘致を進めてきたが、これだけ増加したことに對して指摘。市長から「足りていない」という状況とはいえない」と誘致・拡充方針は今後撤回する旨の答弁があった。

市有地の有効活用

森 かれん



様々な事情で活用検討すら進んでいない施設が多数あるが、トライアルサウンディングという市有地を期間限定で無償貸出し、民間事業者などに活用してもらう手法があるため、市更なる利活用を提案した。

公園愛護会への支援

神谷 修平



高齢化と担い手不足に対し、機材貸出による負担軽減、活動量に応じた報奨金上乗せ、多様な担い手制度の導入を検討し、活動意欲向上と公園環境の維持を目指すべきと提言。

洛西SAIKOプロジェクト他

北川 みき



プロジェクトが始まり2年半が経ったが、掲げられた6分野55アクションの具体的な進捗状況を問う!場当たり的ではなくリーダーを据え置き中間評価を取り入れるなど責任ある実効策を。

しごとの仕方改革について

北尾 ゆか



市民に寄り添う行政を実現するため、京都市職員の多様な事情を支え合う職場づくりが必要。職員の定着や生産性の向上を図る観点から、フレックスタイム制度検討すべきと提言。

それぞれの質疑の様子はこちらから



代表質問

総括質疑
1日目

総括質疑
2日目